

「耳をすませば」

～震災後に京都で何ができるかを考える～

被災地の想いを聞いてみよう

被災地の高校生がいま抱えている想い、避難されている人々が向き合っている現状、阪神淡路大震災の経験を活かした支援活動。ここから、京都の地でできる長期的な支援のあり方についてともに考えてみませんか。

とき

2012年 **8月19日** (日)
14:00開場 14:30開演

入場無料
整理券

定員 約600名

当日13:30から会場入り口にて
入場整理券を配布します。
なくなりしだい締め切ります。

プログラム

第Ⅰ部 14:30～ 福島県立相馬高等学校 放送局 上演

「今 伝えたいこと(仮)」

いま福島に生き、これからも福島で生きていこうと考える高校生の日常と、彼らが日々思い巡らせていることとは？

第Ⅱ部 15:30～ 神戸松蔭女子学院大学 勝村弘也教授 講演

「震災ボランティアを考える ―阪神大震災を振り返りながら―」

16:20～ 京都教育大学学生団体 F-Project ～耳をすませば～ 調査報告

「支援のこれからを考える」

ところ

京都市 呉竹文化センター

駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

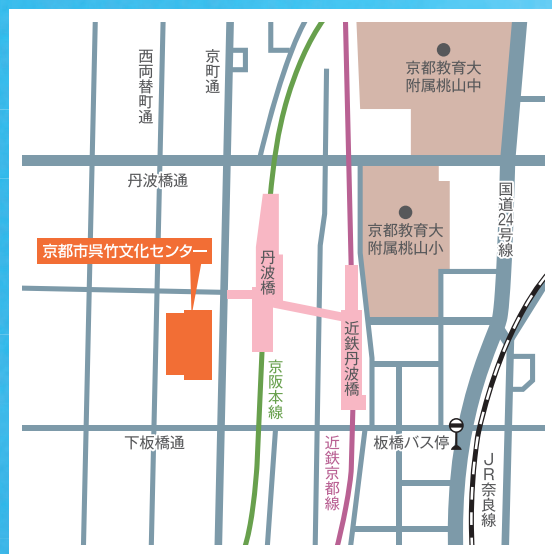
電車の場合

京阪本線・近鉄京都線「丹波橋」駅西口前

バスの場合

市バス「板橋」下車
西へ5～8分(南8系統)

市バス「西丹波橋」下車
東へ10～15分(81系統)



主催: 京都教育大学東日本大震災復興支援「今 伝えたいこと(仮)」上演実行委員会・京都教育大学学生団体「F-Project～耳をすませば～」

後援: 京都府教育委員会(申請中)・京都市教育委員会(申請中)

お問い合わせ先

京都教育大学企画広報課 075-644-8125 kouhou@kyokyo-u.ac.jp

京都教育大学学生課 075-644-8166 kagai@kyokyo-u.ac.jp

(当日の問い合わせは呉竹文化センター(075-603-2463)まで)